

令和7年7月10日からの大雨による被害状況等について（第1報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 気象状況 気象庁発表（7/11 07:00 時点）

- 10日から11日にかけて、前線が東北地方から関東甲信地方を南下した。東北地方から西日本では上空の寒気や、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で大気の状態が非常に不安定となり、大雨となった所があった。
- 特に、東北地方南部、関東甲信地方、及び岐阜県では、10日夕方から夜のはじめ頃にかけて局地的に雷を伴った猛烈な雨が降り、大雨災害の危険度が急激に高まった所があり、記録的短時間大雨情報を計31回発表した。
- 東日本から沖縄・奄美では、引き続き12日にかけて暖かく湿った空気や上空の寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、大雨となる所がある。
- 九州南部では11日夕方にかけて土砂災害に厳重に警戒。沖縄・奄美と西日本では12日にかけて、東日本では11日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。落雷や突風に注意。

2 体制等

- 警戒体制：気象庁
- 注意体制：本省、国総研、関東運輸、九州運輸、沖縄総合事務局、
国土地理院

3 被害情報等

(1) 河川（7/11 06:00 時点）

- 栃木県管理の1水系1河川で田畑浸水
 - 群馬県管理の1水系1河川で床下浸水（浸水解消）
- 被害の詳細調査中。

(2) ダム（7/11 06:00 時点）

- 事前放流、洪水調節等を実施したダム：なし

(3) 砂防

■土砂災害警戒情報（7/11 07:00 時点）

7県32市町村に発表（山形県、福島県、群馬県、埼玉県、山梨県、

長野県、宮崎県)

※1 県 2 市に発表中 (宮崎県)

- 土砂災害 (7/11 08:00 時点)
確認中 (現時点では被害情報無し)

(4) 下水道 (7/11 07:30 時点)

- 神奈川県横浜市：
下水道のマンホール蓋が飛散し道路陥没 (1 件)。
舗装破片の飛散により車両 4 台に被害、乗車中の 2 名が受傷。
下水道流下機能異常無し、道路応急対応し通行開放済み。

(5) 道路 (7/11 06:30 時点)

- 高速道路・有料道路・直轄国道
[被災による通行止め：なし]
[雨量基準超過等による通行止め：なし]

- 補助国道・都道府県道等
[被災による通行止め：なし]

■孤立集落

都道府県	市町村	地区名	被災内容	孤立集落	集落へのアクセス	ライフライン等
なし						

- 防災道の駅
[被災情報：なし]

■ライフライン

- ・電力、通信、上下水道、鉄道について、連絡調整を行っており、現時点で、道路への要請なし (ホットライン構築済み、災害時の連携を確認済み)

(6) 航空 (7/10 23:00 時点)

【7 月 10 日】

欠航便：37 便 (JAL 10 便、ANA 19 便、その他 8 便)

【7 月 11 日】

欠航予定便：4 便（ANA 3 便、その他 1 便）

(7) 海事（7/11 06:00 時点）

○定期旅客船の運休状況：1 事業者 1 航路運休

(8) その他・・・（海岸、上水道、住宅、公園・都市、鉄道、物流・自動車、
港湾、観光）関係の状況

・被害情報なし

4 国土交通省の対応

(1) 国土交通省災害対策連絡調整会議（7/10）

(2) ホットライン構築状況

全国 22 自治体（8 市 11 町 2 村 1 区）と構築済み

都道府県	自治体数等
山形県	1 市 2 町
福島県	2 市 3 町 2 村
群馬県	2 町
埼玉県	3 市 3 町
東京都	1 区
神奈川県	1 市
長野県	1 町
岐阜県	1 市

5 気象庁の対応（7/11 07:00 時点）

○各地の気象台は、説明会等により警戒を要する自治体等に今後の見通しについて解説を実施。

6 海上保安庁の対応

○巡視船艇、航空機の即応体制確保

○被害状況

・被害情報なし

○その他参考事項

・自治体等からの支援要請なし

・当庁施設の被害なし

以上

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 箭内
代 表：03-5253-8111 内線35-822
直 通：03-5253-8461